



令和3年10月20日
発行 美保だいせん会
印刷 東京印刷株式会社

令和3年度の 美保基地追悼式を挙行

「天翔の碑」で殉職隊員の御霊を追悼

9月30日(木)、美保基地は任務遂行中その職に殉じられた隊員の追悼式を基地内慰霊碑「天翔の碑」前において挙行した。

今年度の追悼式も昨年同様新型コロナウイルスの感染拡大予防を考慮し、屋外において実施した。また、参列者も隊員の参列は最小限とし、ご遺族、基地関係団体及び周辺自治体の方々への招待は控えさせていただきます。



式典終了後に「天翔の碑」前で記念撮影



献花を実施する柴田准曹士先任



追悼の辞を述べる與儀基地司令

は、昭和三十年に臨時美保派遣隊として新編されて以降、地域及び基地所在部隊等に支えられながら、輸送機による航空輸送及び輸送機・救難機操縦者などの育成を通じて我が国の防衛に重要な役割を果たして参りました。特に、C2の本格的運用が開始されてからは、航空自衛隊の主力輸送部隊として、国外にも活動の場を広げ、さらには空中給油・輸送機の配備も目の前に控え、更なる国防への献身も期待される基地となってきました。

東京オリンピックに パラリンピックに隊員を派遣 27名の隊員が競技会場等で活躍

7月23日～8月8日、8月24日～9月5日の間に開催された東京オリンピック及び東京パラリンピックに五輪支援部隊要員として美保基地は27名の隊員を派遣した。四年に一度のスポーツの祭典は新型コロナウイルスの感染拡大という不測事態のため一年延期という異例の事態を経ての開催となった。陸海空の自衛隊から派遣された隊員たちは各大会競技場や沿道の警備等に支援活動を実施し大会の円滑な運営に寄与した。美保基地からは自転車競技群に25名と式典協力隊に2名の隊員を派遣した。隊員たちは全員が、初めての経験であり、一つのミスも許されないというプレッシャーの中で勤務であったが「絶対に大会を成功させる」との強い思いを胸に厳しい環境下での任務を見事に遂行した。式典要員として参加した整備補給群検査隊・岡内隆幸2曹は大会が終了し帰隊後の感想で、



各国の国旗を手に待機する隊員

「山陰のトビウオ」
私は生まれも育ちも地元米子市で、この「だいせん新聞」のコーナーのタイトルとおり美保湾の海で幼少の頃から海水浴や釣りなどを楽しみ、美保湾と共に成長してきました。そんな大好きな美保湾の砂浜も、浸食が進行し私の幼少の頃に比べると大きく様変わりしてしまいました。私の実家近くの砂浜も波の影響によりと思われる浸食で砂浜が後退し、今ではコンクリートで護岸を整備し、沖にはテトラポッドを使用した波消ブロッコが設置されている。私は風情の感じられなくなったコンクリートだらけの海岸を散歩しながら「自然には逆らえない。自然を無理に変える必要はない。」と考えていた。最近、報道で日本最南端の「沖ノ島」が調査で、潮流や波による浸食が原因で消滅の危機に瀕しているのを見た。島は年々浸食され続け、3つある大きな露岩の1つが干潮時でも水面下に没し、2つの露岩は干潮時には約10センチの海拔しかなく、数十年後には消滅の危機に瀕しているらしい。この報道を見て、私の今までの考えは、自然と共存しながらも大切な日本の国土を消滅の危機から救うことも必要だと認識が変わった。コンクリートの波消ブロッコで島の周辺を囲みながら浸食を懸命に食い止めている現実を目の当たりにし、なんとかしなければと焦燥感を感じている。これからは、私自身の生活も改善できるものとするでないものをしっかりと判断し臨機応変に人生を過ごしていけたらと思う。まずは私のメタボリックな身体を早急に改善する必要があります。

ここに、あらためて、いかなる困難にも打ち勝ち国民の負託、皆様の想いに応えるべく更なる精進な基地・部隊作りに専心致しますことを誓います。美保基地の隊員は、今日ここに、悲しみを繰り返さず、また、事故の教訓を風化させず、是れを踏まえての決意を新たにしたいところです。どうかご安心いただければと存じます。結びに、御霊の安らかならんことを、そして、温かみ美保基地を見守ってくださいと健勝を重ねてお祈り申し上げます。(要旨)と追悼の辞を述べた。その後、参列者による献花、甲銃斉射を実施し殉職隊員のご冥福を祈り、式は終了した。

C2輸送機が アフガニスタンへ 在外邦人等輸送任務に出発

8月24日(火)、第3輸送航空隊は、在アフガニスタン・イスラム共和国邦人等輸送のためC2輸送機及び空輸隊要員の派遣を実施した。また、前日23日(月)午後には搭乗支援隊員が美保基地を出発した。空輸隊は、アフガニスタン及び周辺国を拠点として約2週間にわたる、在外邦人等の輸送任務を実施した。現地での活動は、日本とは異なる気候や食事、さらには政局不安による治安の悪化等、様々な制限により困難を極めたが、派遣隊員たちは整齊と任務に邁進し、事故等のトラブルもなく、9月4日(土)無事任務を終了帰国した。



C2輸送機搭乗前に整列する隊員たち

私は生まれも育ちも地元米子市で、この「だいせん新聞」のコーナーのタイトルとおり美保湾の海で幼少の頃から海水浴や釣りなどを楽しみ、美保湾と共に成長してきました。そんな大好きな美保湾の砂浜も、浸食が進行し私の幼少の頃に比べると大きく様変わりしてしまいました。私の実家近くの砂浜も波の影響によりと思われる浸食で砂浜が後退し、今ではコンクリートで護岸を整備し、沖にはテトラポッドを使用した波消ブロッコが設置されている。私は風情の感じられなくなったコンクリートだらけの海岸を散歩しながら「自然には逆らえない。自然を無理に変える必要はない。」と考えていた。最近、報道で日本最南端の「沖ノ島」が調査で、潮流や波による浸食が原因で消滅の危機に瀕しているのを見た。島は年々浸食され続け、3つある大きな露岩の1つが干潮時でも水面下に没し、2つの露岩は干潮時には約10センチの海拔しかなく、数十年後には消滅の危機に瀕しているらしい。この報道を見て、私の今までの考えは、自然と共存しながらも大切な日本の国土を消滅の危機から救うことも必要だと認識が変わった。コンクリートの波消ブロッコで島の周辺を囲みながら浸食を懸命に食い止めている現実を目の当たりにし、なんとかしなければと焦燥感を感じている。これからは、私自身の生活も改善できるものとするでないものをしっかりと判断し臨機応変に人生を過ごしていけたらと思う。まずは私のメタボリックな身体を早急に改善する必要があります。

半世紀以上の歴史に幕

旧第1整備格納庫を解体

美保基地では新
空中給油・輸送機
の導入準備として
各種施設の建設や
古い施設の取り壊
し等が実施されて
いる。

今回解体作業が
実施されたのは、
旧第1整備格納庫
でYS11型輸送機
の整備格納庫とし
て昭和45年3月に
建設されたもので
ある。建設から50
年余の歳月を経て、
役割を終えた同格
納庫は隊員たちが大切に使
用していたことで、とても
50年以上の年月が経過して
いるとは思えないほど良好
な状態で解体の日を迎え
た。

解体作業を見守る隊員か
らは「新隊員の時、先輩か
ら厳しい指導を受けながら
整備作業したのが、つい最
近の事のように感じられま
す。楽しい思い出がたくさん
詰まった格納庫でした。
少し寂しく感じます。」と取
り壊しを惜しむ声が聞かれ
た。



キレイに更地となりました



解体作業はあっという間です

施設隊が

慰霊碑周辺を環境整備

高圧洗浄機等で長年の汚れを除去



とてもキレイになりました。施設隊の皆さんありがとう

交通安全の抑子コンテスト

美保基地から2名の作品が佳作に選出

基地業務群施設隊はC46
慰霊碑周辺の環境整備を
実施した。
環境整備は一週間以上の
期間を設け、長年の風雨に
晒された慰霊碑の高圧洗浄
をはじめ、樹木の剪定、周
辺道路や側溝の除草作業等
も行われた。
作業には、施設隊長・馬
場園3佐、准曹士先任・松
浦曹長も樹木の剪定や安全
管理等に参加し、他の隊員
たちと共に汗を流した。
9月16日(木)、総仕上げ
の作業を終えた慰霊碑周辺
は環境整備前とは見違える
ほど綺麗になった。
毎年、事故の発生した3
月4日は、献花追悼を実施
している同慰霊碑である
が、来年は綺麗に生まれ変
わった慰霊碑で同行事を
実施出来ることに心から感謝
したい。

第3輸送航空隊司令部監
理部・末廣准尉と整備補
給群修理隊・関啓介1士の
2名は、鳥取県交通安全協
会が募集した「鳥取県交
通安全川柳コンテスト」に
おいて佳作での入選を果た
した。
交通安全川柳は鳥取県民
が交通安全活動への参加意
識を高めるとともに交通安
全啓発運動の趣旨を理解し
てもらうことを目的として
同協議会が初めて企画開催
したものである。
今回は自転車の安全利用
促進をテーマとして「自転
車用ヘルメット」の着用を
呼びかける作品の募集が行
われ、入選した2名には、

それぞれ賞状と副賞が授与
された。
鳥取県全域から募集され
た交通安全川柳は応募総数
395作品にのぼり、そ
の中から佳作3点中2点が
美保基地所属隊員の作品で
あった。
両川柳は、自転車利用者
を対象とした交通安全啓発
活動において使用される予
定である。
末廣准尉の作品
「ママもだね
僕と一緒にヘルメット」
関1士の作品
「ヘルメット
悲しい涙がへるきつと」



写真左：末廣准尉 右：関1士

新型コロナワクチン

職域接種

美保基地でも着実に接種率が向上

世界中で猛威を振るう新
型コロナウイルスへの有効
な対策として、全国で新型
コロナウイルス用ワクチン
の接種が進んでいるが、美
保基地でも職域接種により
着実に接種率が向上してい
る。

6月下旬に開始された職
域接種により多くの隊員が
集団免疫確保にむけて、基
地業務室等においてワクチ
ン接種を完了した。
ワクチン接種を終えた隊
員からは「正直、ワクチン
接種には不安もありました
が、部隊の訓練や任務遂行
に影響を与えるかもしれな
いと考え、早く接種を完了
しなければとの思いから職
域接種を決断しました。少
しでも安心して生活出来



初めてのワクチン接種！緊張しますよね

「ばいと思います。」との意
見が聞かれた。
ワクチン接種に関しては
本人の意思を尊重しての接
種となるが、安心安全の
生活を取り戻すためにも可
能な限りの接種を推奨した
い。

毎日見てるけど何が変わったんだろう？さらに夜中になると洗濯干
しのところで何か明かりがついていて、何をしているのか私は寝たふ
りをして見てみました。ポケモンをしているようです。私には、早く
ねなさい、ゲー
ムはおしまい
とか言うのに
ずるいと思っ
ます。
これから
お父さんの秘
密を見つけて
お母さんには
お母さんと思
います。

わたしのおとうさん

長島 瑠璃さん(上道小4年)

基地業務群通信隊 長島 利緒 3曹

私のお父さんは秘密が多い！

私のお父さんは、いつも何かあるとそれは企業秘密！と言って教え
てくれません。面白くない。他にももっと何をしてるか私は知っ
ています。例えば夜になると洗面台にいつ、コンコン毛抜きをして
いました。

これからも
お父さんの秘
密を見つけて
お母さんには
お母さんと思
います。



瑠璃さん！素敵です



能力開発設計教育を開催

30名の隊員が将来を考える良い機会に

7月27日～7月29日の3日間、美保基地防護室は「能力開発設計集合訓練(准空尉及び空曹)を実施した。本訓練は、定年退職のおよそ10年前の若年定年自衛官に対し、将来の生活設計に必要な能力の開発を図ることを目的として開催している。

今回は、美保基地、高尾山分屯基地から30名の隊員が参加し、将来、民間企業に再就職することを意識してもらったため全員が私服を着用しての訓練(クールビズ)となった。

トラテジーより「三ッ國全代(みつくにまさよ)氏を部外講師として招き、職業能力の開発や定年後の生活についての教育を実施していた。参加した隊員の殆どが、退職後の生活について真剣に考えたことがなく、今回の訓練は自らの将来について考える良い機会となった。

訓練では「自衛官の再就職への道のり」と題し、自衛隊と民間企業の違いや、再就職に必要な準備についての解説を受けた。参加者は自衛隊と民間企業との違いについては漠然と理解

していたが具体的な例を示されて説明を受けると、その事実に驚いていた。また、訓練最終日は、定年後に必要なとされる生活資金等について講習を受け、定年後の生活を安定したものとする貯蓄や保険等についてしっかりと準備する必要があるということを確認する機会となった。

訓練終了後、参加者達からは「再就職後3年以内の離職率が50パーセントを超えているという数字を見て衝撃を受けました。本当に自分に合った職業は何なのかということを実際に考える良い機会となりました。」等の感想が多く聞かれた。



三ッ國講師による教育



意見発表中の参加者

故事成語

No.243 華胥の夢
●屋寢のこと。よい夢のこと。

中国の伝説の皇帝 黄帝は政治に悩み、3ヶ月の間政治をやめていたが、ある日、屋寢をして夢の中で、華胥の国へ行った。

華胥の国では身分のある人はおらず、人々は自然のまま感情にとらわれずにおだやかにすごしていた。

夢からさめた黄帝は政治を再び始め、天下をうまく治め、名君としてたたえられた!!

また「華胥の国」は、気持ちよく屋寢することによって、理想郷をさす言葉であり、屋寢の夢は、よい夢のことです。

職場紹介 異世界から転生したら油圧のエースになっていた件

整備補給群修理隊油圧分隊

お疲れ様です。整備補給群修理隊油圧分隊の岡田1士です。

私は気が付いたら自衛官となり、昨年の7月に鳥取県の美保基地に配属されて、油圧分隊のエースとして勤務する事になりました!

まさに、マンガでよくある異世界から転生したような感覚で、最初は何もわからなかった私も諸先輩方の指導のもと、エースとして日々業務に邁進しています。

そんな私の所属する油圧分隊について紹介しようと思います。

油圧分隊はベテランの曹長をはじめ、2曹、3曹、さらには若い空士で構成されています。

油圧は航空機の飛行姿勢を変化させるための操縦翼面の作動や、離着陸時の脚の出し入れ、ブレーキなどの大きな力を要する部分に使われており、私たちはその関連構成品の整備を主にしています。

整備と計画外整備に分けられており、計画整備とは技術指令書によって定められた飛行時間ごとの点検及び整備のことです。また、計画外整備とは航空機を運用中に発生した不具合に対する整備のことです。

その他、ブレーキの修理や器材の維持管理を行っています。



先輩方のサポートが頼りです

最近では新隊員の着隊によりシヨップの平均年齢が爆下がりに、よりフレッシュなシヨップとなりました。

私も油圧のエースとして日々の業務に専念し、先輩方にいち早く追いつけるようご指導・ご鞭撻をいただきながら、毎日を送っています。

自身の整備のレベルが上げられ、先輩方のサポートや、整備ができる範囲も増え、毎日が充実したものとなっています。

転生物語の続きが気になる方は、美保基地修理隊

みなさんこんにちは。今回のレジャースポットは日本三景の一つである「天橋立」を紹介します。

日本三景とは江戸時代初期に儒学者の林春斎が全国を旅した時に記した「日本国時跡考」で紹介されたのが始まりのようです。松島(宮城県)、宮島(広島県)、天橋立(京都府)の3か所がそれです。全て海に面しており、豊かな海の幸を堪能出来るのが共通しています。

私は日本海に面した天橋立が大好きで、その季節の

時々で見せる素晴らしい景色を是非皆さんにも体験して頂きたいです。写真で紹介している景色は天橋立に設置されている「天橋立ビューランド」という所です。

ロープウェイ(有料)で登るのですが、下りはスキー場に設置されているような一人用のリフト

も利用することが出来ます。爽やかな風を感じながら丹後半島、日本海の絶景を楽しむことが出来ます。

地上に降りてくれば、周辺には食事を楽しめる施設も多くあり、冬であれば松葉蟹等の日本海の海の幸を堪能することが出来ます。

新型コロナウイルスの感染で県外への外出は厳しい状況が続いていますが、コロナ禍が終息した時には是非とも同地を訪ねられることをおススメします。

【えむにそ〜】



最高の眺めです!!

一人前の管制官を目指して

美保管制隊管制班

田中 勇輔 1士
木村 大作 1士

皆さん、こんにちは。今回は、美保管制隊管制班に配属された期待の新人2名を紹介します。

まずは、目力が非常に強く、気配り上手な田中1士です。田中1士は、映画「翔んで埼玉」で一躍有名になった埼玉出身の24歳です。趣味・特技はバスケットボールで、体を動かすのが大好きな隊員です。職場においても、非常に真面目な性格で、常に作業や訓練に一生懸命の姿を見て、先輩一同感心しきりです。

次は、とても礼儀正しく、いつも大きな声で元気に挨拶をしてくれる木村1士です。木村1士は、「琵琶湖」と「ひこにゃん」で有名な滋賀県出身の31歳です。趣味・特技はウォーキング(行軍)で、元陸上自衛官ということもあり、非常にパワフルな隊員です。職場においても、非常に前向きな性格で、作業や訓練に積極的な臨む姿が好印象です。

これから本格的な実務訓練が始まりますが、彼等ながらもささっと乗り越えて、立派に育ってこれることを管制隊一同願っています。

最後に、今

油圧分隊(内線391)まで。修理隊 岡田1士

後の意気込みを語ってもらいます。紹介を終わりたいと思います。

「同期と切磋琢磨し、管制官として一人前の業務を遂行できるように勉強に努めていきます(田中1士)」

「管制技能資格を取得し、いち早く部隊の戦力となれるように頑張っていきたいと思います。(木村1士)」



左から:田中1士 木村1士

家庭訪問

美保管制隊整備班

稲田侑真3曹・幸恵さん宅の巻

愛息子に悪戦苦闘の幸せな毎日



やんちゃな波琉くん かわいいですね!

今回の家庭訪問は、管制隊整備班の「元氣いっぱい力持ち」である稲田3曹のお宅を紹介します。

んと3人で松江市内に住んでいます。奥様である幸恵さんとの出会いは25歳の時にバイクショップ主催でのツーリングがきっかけであり、愛車のバイクより輝いて見えた幸恵さんへの一目惚れから射撃なみの猛烈なアプローチが開始されました。その結果見事、幸恵さんの心を射止め交際することとなりました。それから約2年の交際期間を経て令和元年8月に結婚し、昨年6月には愛息子の波琉くんが誕生し、家庭円満で幸せな毎日を送っています。まだまだ新婚気分の熱々な2人にお互い好きな所をこっそり聞いてみました。稲田3曹は、料理が非常に美味しくてレパートリーが豊富な所だそう。特に仕事を終え自宅に帰ったからの夜ご飯が非常にたのしみだそうです。実際に私も馳走になりましたが健康面を考慮したバランスある料理に正直、納得する美味しさ

ふるさとパンガイ

長崎県の空の玄関口 長崎空港の花文字山

基地業務群飛行場勤務隊 西村 篤人1士

私は、長崎県で4番目に人口が多い「大村市」で生まれ育ちました。大村市は、かつて父が勤務していたが勤務している陸上自衛隊大村駐屯地をはじめ、竹松駐屯地、海上自衛隊大村航空基地があり、自衛隊の街として知られています。また、大村市には長崎県の空の玄関「長崎空港」があり、毎年300万人ほどの観光客が訪れます。ここでは、私が入隊前に勤めていた長崎空港を紹介させていただきます。



長崎空港

長崎空港は、大村湾に浮かぶ長さ3000メートルを誇る滑走路を有する世界初の海上空港として知られています。空港自体が大村湾の沖合に位置しているため、本土への騒音の心配が少なく、障害物もなく見晴らしが良いのでパイロットは離着陸しやすいそうです。また、空港ターミナルはレンガ造りを基調とした教会をモチーフにされており、空港でも長崎を堪能できます。滑走路を挟んだ向かい側には約5万本のツツジで「NAGASAKI」と施された花文字山があり、離着陸の際には上空



T400前で来場者に説明中

鳥取砂丘コナン空港イベントに参加

爽やかな秋風の吹く中、 夕々の広報活動

10月2日(土)、鳥取砂丘コナン空港で開催された「鳥取砂丘コナン空港フェスタ2021」に第403飛行隊所属のC2輸送機、第41教育飛行隊所属のT400練習機の各1機が地上展示機として参加した。2年ぶりの開催となったイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため飛行場地区への入場人数を制限し、事前予約をした方のみが参加出来る方式で開催された。来場者の方々は、日頃、近くで見ることの出来ないT400練習機や、機内開放されたC2輸送機内を興味深く見学し、航空機の付近にいた隊員に質問する等していた。当日は、全国の緊急事態宣言解除後に鳥取県内で開催されたイベントということもあり、来場者の方々は、感染予防に注意を払いながら爽やかな秋の風と共に久々のイベントを心ゆくまで楽しんだ。



しっかりと密を避けてC2見学です

お宝発見!

1輸空隊創立1周年記念たばこ

みなさんこんにちは。今回は、整備補給群本部の立原准尉から、とても珍しい物をご提供頂いたので紹介します。珍しい物とは、第1輸送航空隊(小牧基地)で作成された「1輸空隊創立1周年」を記念したタバコです。このタバコはかつて「マイルドセブン」と呼ばれた種類のもので、パッケージには1輸空隊の401飛行隊(当時)のマークと、同飛行隊に所属していたC1輸送機の写真が印刷されています。パッケージの側面には「昭和54年3月11日」と



創立1周年の文字があります



なかなか珍しいでしょ!?



ハロウィン

日本でもすっかりお馴染みとなったハロウィン! 今年はどうな仮装で楽しむのかな?

等の考え方が定着してきており、部隊の1周年記念にタバコを作成していたというのも、この当時ならではの記念品らしく、とても興味深いものであると思います。同記念タバコは美保基地資料館に展示を予定しているため、興味のある方は是非一度、資料館に足を運んでください。



住所 鳥取県東伯郡

第2の人生
お元気で
8月定年退官者

8月22日付
第3輸送航空隊
未廣 稔 准尉